

第1回 東京南レトリバークラブ

ハンドリングコンペティション & バーベキュー大会 (群馬県 アンデルセン牧場にて)

第1回 S.T.R.C (東京南レトリバークラブ), ハンドリングコンペティション & バーベキュー大会が、去る 8月19日, 群馬県は妙義山のふもとにあります, アンデルセン牧場で目まぐるしく開催されました。当日は神様が我らの浮立つべきときを知ってか知らずか あはれな日本晴れに恵れ, 参加者も, 100名を越す……と, 言いたい所ですが, 20名前後で少々寂しいような気もしましたが, 親睦を深めるには丁度良い人数のようでした。



♪ 君も僕も迷ハンドラー ♪

開催地が, 群馬県ということでは, 東京人にとっては, ちょっと長道中ではありましたが, 慢性犬好柄の 秋としては,

早起きなど 何のその。？ ましてお日様の下で、公然とお酒を飲んだり、犬と一緒に遊びまわるとあっては、眠いなどと言ってはいられないのです。

閑越自動車道をひた走り高崎工場で高速もあり730分やって来ました アンデルセン牧場。？ 朝もやのなごりがほのかに残っているようで、冷やかな空気が、素肌にすかすかしく島のまえずりと、ほのかに聞こえる コーデルが 私達を歓迎してくれました。 そんなメルヘンに浸りつつ「やった。？ 一番のり。？」……. と思いきや 何と、昨日から愛犬と共にテントをひきあげ、牧場内に泊まり込みの会員の方があったのです。 昨晩は 零れ落んばかりの星達と夏月を着に、お友達と、御酒を酌交したとか……。 うらやまいかぶりですネー。 さてさて 午前10時頃になると、一般の行来客もテラホと おとずれ 我がレトリバークラブのメンバーも、ほぼ揃い、久方振りの対面を喜び合ったり 初対面の方々とも、あちこちで、話の花が咲きはじめておりました。 和やかな雰囲気の中に 第一のメニューのハンドリングコンペティションが、木村竜司氏 露木健生氏、黒木厚博氏 3名の講師により行なわれました。

「うちの子は、ドッグショーに出る気はないから……。？」とおっしゃる方も、こおいう遊びの場を借りて チョット 気取ったポーズをとってみても良いのでは？ (なんとって、露木健生氏が 手とり足とり教えてくれる事なんて、メ、タにありませんゾ。？ しかも タダなんて。？)

人間も茶道、華道を身に付けていれば、美しい姿勢や身のこなしがそこはかたなくにじみでてくるもの。ワニちゃんもそれに然、……。？ 私も何度かジョーリングに立った事がありますが、一流のギャッジやハンドリングをなさっている先生方に、細かな所をそれはもう手とり足とり教えていただきました。だいたいのチェックポイントを教えていただいた後、木村庄司先生に、ギャッジをやっていたきジョー審査の流れを教えて頂きました。一般客の方も立ち止まてながめたりして、ドンクジョーさなからの雰囲気でした。ジョーに興味のある方には、とても勉強になったと思います。又、興味のない方にも、十分楽しんで、いただけたと思います。

コンペティションが終ると、お待ちかねのバーベキュー汗かいた後で、グイッと飲み干すビールのお味。イヤー何ともたまりませんナ。それにしても食べる事と飲む事にかけてはみなさん、更に積極的ですネー。でも良いではありませんか 私など、友人のビールを横取りして、飲んでしまいました。あしからず……。

バーベキューをした場所は牧場の頂上あたりで、左側に妙義山 後側は雑木の茂る谷間のようになっていて、風通しも良く8畳間ほどのちょうど海の家のようになっていました。その上に昔なつかしい七輪を3個ほど置き、ちょとユニークな「七輪バーベキュー」となりましたが、こじんまりした人数で、参加者の顔が一瞥でまたせいか、

ほのぼの気分です。ついついお隣のお皿に箸を出してしまったり
かしなないとか……？ 木村庄司先生や相談役の方々とい
れのアマーイ桃とスイカで、食後のデザート兼ねて、子供達に
よるスイカ割り大会も行なわれ、解放的な空気が为せる業
とでも言いましょうか。つい応援にも熱がこもり、ドサツサ
まぎれに、端なない言葉が飛びかい、注目を浴びたのは
何となくそこの私でした。お腹が満腹になっても、ワニヤン
の語は尽きません。そして又、ワニヤンと一緒に昼寝を
したり、子供と竹馬や木ゲタで遊んだり、思い思いに自由
な一時を楽しみ、高原の昼下りは、柔和に、ゆっくりと流
れて行きました。太陽が少し傾いたころ、閉会の辞で、和
やかな雰囲気の中に幕がおりたのでした。

今にして思うと、夏の真最中の催しは、大にとして苛酷だっ
ようです。長時間、車に揺られた上、暑さと、緊張で軽い下痢を
おこした犬が何頭もありました。ですが、満々る緑の中
で、すごした遊びの一日は、いつまでもみな様の心に残る
事でしょう。私達のクラブは、犬と人間が一緒になって楽しめる
催しをできる限り多く行いたいと思います。又今回も10数頭の犬
が参加しましたが、大きな争いなく穏やかに過ごせたのも、何げ
なくそばにいていつも暖く見守ってくれる犬、トリバーならではの事
ではないでしょうか。次回の開催日は、未定ですが、その時に日
より多くの方々に、この感動を味わって頂きたいと思います。